

公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本・愛知

NEWSLETTER

2021 9月号

スペシャルオリンピックスは知的障がいのある人のスポーツを応援します。

ヤングアスリートプログラム研修会の開催(愛知学泉短期大学)

愛知学泉短期大学幼児教育学科の谷村ゼミナールでは、「インクルーシブ保育・教育を学ぶ」というテーマのもと、障がいのある子どもとの関わりを中心に活動しています。その活動の一環として、2019年度からヤングアスリートプログラムを行っています。 昨年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染拡大のために、子どもを迎えて、ヤングアスリートプログラムを実施することができませんでした。

今年度は子どもたちを本学に迎えてヤングアスリートプログラムを実施するために、2021 年 7 月 15 日(木)にスペシャルオリンピックス日本・愛知の八塚奈保子さんを講師に迎え、研修会を行いました。内容はスペシャルオリンピックスとヤングアスリートプログラムの説明と、ヤングアスリートプログラムの演習として、学生たちが協力し合って、子どもや指導者が楽しく遊べる内容を考えました。

学生たちは子どもの視点に立ち、色々と話し合い、試し合いながら、遊ぶ内容を考えていました。

今後は、今秋に本学に子どもを受け入れて、ヤングアスリートプログラムを行う予定です。

(愛知学泉短期大学幼児教育学科 谷村 和秀)

<学生の感想>

はじめは、ヤングアスリートプログラムとはどのようなことと思いました。2歳半から7歳の幼児期の子どもを対象にしたスポーツと遊びを融合させたユニークな活動ということが分かりました。障がいの有無に関わらず一緒に活動するそうです。

ヤングアスリートで1番大切なことは『楽しむこと』だと知りました。子どもたちや仲間(ピア)だけでなく、ファミリーや指導者、 その他の参加者が楽しめるような活動を考えます。

いざ、実践してみようとなった時、私たちで考えてみることになりました。はじめは、やみくもに遊びを考えていましたが、ホワイトボードを使いながら意見を出していくことになりました。ひとつずつ誰もが楽しんで遊べるよう考えていき、八塚さんにヒントを頂きながらサーキットを作ることができました。その時、環境を整える事が大切だと感じました。細かいところまで注意し、子どもの起こりうる行動を予測しながら環境を整えていきました。楽しむためには安全に配慮したりすることの大切さを知ることができ、とても貴重な体験ができました。

(愛知学泉短期大学幼児教育学科2年 波多野沙那)



参加者のみなさん



演習内容 1



演習内容 2

発行 / 公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本・愛知

〒467-0827 名古屋市瑞穂区下坂町 2-9 丸美タウンマンション堀田 1 階 TEL:052-882-5150 FAX:052-882-5160 mail:soaichi@sage.ocn.ne.jp URL:http://www.son-aichi.jp 毎月第四水曜日発行・購読料: 1 ヶ月 1 0 0 円(会員の購読料は、会費に含まれています) 2021.8.25 発行



NEWSLETTER

ヤングアスリートプログラム研修会の開催(愛知学泉短期大学)

(前ページからの続き)

<学生の感想>

ヤングアスリートプログラムを行ったこともないことだったので、最初はどのようにすればいいかわかりませんでした。自分たちでこうしたらいいかな?と考えていき出来上がった時は達成感が大きかったです。障害のある子どものことだけでなく、いろいろな特性を持った子どもが遊べるように考えるのは難しいと思いました。最初はコーナーの遊びだけを考えていたのですが、周りの物の位置も重要になってくるということがわかりました。子どもたちがコーナーの中で遊ぶだけでなく、その周りでも過ごすのでその中で危険がないよう安全に配慮しながら考えることを学ぶことができました。保育者になる身として視野を広げていくことを学ぶことができました。

(愛知学泉短期大学幼児教育学科2年 村瀬未侑)

最初はヤングアスリートプログラムというものがどのようなものかも知りませんでしたが、今回の授業を通して、知的障がいなど身体に不自由な部分がある子ども達への支援ということを知りました。

はじめはどのようなものを使ってコースを作っていけば良いのか分かりませんでしたが、普段の授業などで習ったこともあり、 知的障がいの特徴などを思い出していくと、どのような説明や動作が伝わりやすいのか分かってきました。私以外の学生が実践してやっている姿をみるとよりどこを工夫したら良いのかも見えてきました。

今回、行ってみて子ども達と私たちが楽しむことが 1 番ということも学びましたし、周りの環境を整えることにより敏感にならないといけないと思いました。

(愛知学泉短期大学幼児教育学科2年 杉浦 茉奈)

今回のヤングアスリートプログラムの研修会を受けて、運動をする上で気を付けないといけないことがたくさんあることを知りました。例えば、消化器や扇風機などの置物を隠したり、カーテンをしばって触れないようにしたりと、安全面に気を付けた配慮をすることが大切だということを学ぶことができました。

今回の研修会で、安全面に配慮した環境構成や、アスリートが楽しく体を動かして活動できるような、簡単だけど楽しめる遊びや、 保育者が横で手助けをしたりして、一緒にやりとげる達成感を味わえるような配慮をしていこうと思いました。

(愛知学泉短期大学幼児教育学科2年 北川 果麗)

私は、ヤングアスリートプログラムの研修会を通じて、スポーツを 1 から創造する難しさ、大変さ、そして、私自身で考えた遊びを、ヤングアスリートの人に楽しんでもらう難しさを学びました。ヤングアスリートでは、多くの年齢、多くの人が種目に取り組みます。その中で、私たち自身で 1 から遊びを考えました。遊びの中に、蹴る、投げるや、走る、またぐなど、全身を使って活動が行える内容にする、と言う工夫をしました。さらに、投げる距離や、蹴る距離、跨ぐ高さなどを、子どもの実力に合わせて調節できるように、より、遊びを楽しめるようにしました。私たち学生同士で話し合って遊びを作る、と言うことは、なかなか難しかったけれど、なかなかできないいい体験ができました。

何かを考える中で自分の意見を積極的に出す、と言うことは社会の中でもとても大切なことだと思うので、今回学んだことを、 これからも活かしていきたいです。

(愛知学泉短期大学幼児教育学科2年 大井瑞輝)



NEWSLETTER

アスリートの活動紹介

前田京之丞(まえだ けいのすけ)さん

S〇のプログラムではテニスに参加していますが、得意な競技は卓球です。

重度の知的障がいがありながらも小学校 4 年生から卓球を始め、今は作業所に勤務しながら毎日、お父さんやF I D (日本知的障がい者卓球連盟)で知り合った仲間達と市内の卓球クラブで練習をしています。小学校 6 年の時には初めて新日本スポーツ連盟主催の愛知県卓球大会小学生の部に出場し、健常者も参加する中で優勝をしました。パラリンピック卓球の知的部門は、10 の障がいクラスに分かれている肢体不自由と違いクラス分けが無いため、重度の知的障がいの選手が軽度の選手に勝つのは難しいと言われています。このような中でも 18 歳の時には年代別(10 代)全国大会で 3 位に入り、今年 6 月に開催された日本一を決める全国大会ではベスト 32 に残りました。なお、パラリンピックに出場するためには、F I Dの全国大会で上位に入り、国際大会に派遣され各国の大会でポイントを獲得する必要があります。パラリンピックには日本代表として 2 ~ 3 名出場することができるそうです。

現在、目標をパラリンピックと地元名古屋で開催されるアジア大会で活躍することに定め、さらなる技術・体力の向上と毎日の練習で戦術を体にしみこませることに取り組んでいるそうです。これからの活躍が楽しみです。お父さんは、「重い知的障がいがあっても、日々の練習で技術や体力・筋力をつけ、明るくひたむきにボールを追う姿は障がいがある本人やファミリー、関係者に大きな驚きと人間の可能性を感じ、障がいのある人への理解が深まると信じます」と言われていました。



前田京之丞(まえだ けいのすけ)さん

1999年2月8日生まれ 22歳(名古屋市在住)

両面裏裏のラバーを使うオールラウンダーのアスリート、重度の知的障がいのため戦術理解(硬軟の配球の組み立て・相手との駆け引き)について不足する部分を、多彩な技術・体力・筋力でカバーしている。 ※練習相手や練習場所で協力していただける方を求めています。皆で応援しましょう。

マルハン爺が岳ロッヂさんからお便りが届きました

SON・愛知の皆様

こんにちは。ご無沙汰しております。長野県のマルハン爺が岳ロッヂです。SON・愛知の皆さんお元気ですか。おかげさまで私たちは元気にしています。今のロッジはコロナによりお客さんが少なくなってしまい大変困っていますが、自分たちでお風呂場のタイルを張り替えたり、スキーの乾燥室を綺麗にしたり、コロナ感染対策で換気扇を増やしたりと、今できることをしてなんとか過ごしています。皆さんに最後にお会いしたのは去年の冬でしたね。その後いかがお過ごしですか。SON・愛知も活動ができないとお聞きしました。競技の仲間や友達にも会えずさみしいですね。早くこの状況が落ち着いて、安心して楽しく生活できる日々がくることを、そして来年の冬にはみんなの元気な笑顔と再会できることを願っています。それでは、季節の変わり目ですので、お体にはお気を付けください。またお会いできる日を楽しみにしております。





オーナーご夫妻

<マルハン爺が岳ロッヂ>

長野県大町市大字平4817 TEL.0261-22-8453

自然に恵まれたマルハン爺が岳ロッヂでは、冬のスキー春・夏のスポーツ体験、登山、BBQ、渓流釣り、山菜取り、などを始め、秋の紅葉、やまぶどう狩り、キノコ狩り、リンゴ狩り、そば打体験。四季を通して、盛り沢山な魅力がいっぱい。自然を相手に、色んな事にチャレンジしよう!!

※マルハン爺が岳ロッヂさんは毎年アルペンスキー、スノーボード、スノーシューイングの練習会場として、また、夏にはサマースポーツキャンプの会場として利用させていただいています。

スペシャルオリンピックスのこと、アスリートのことを理解していただいておりプログラムの運営がスムーズに進められるのもマルハン爺が岳ロッヂさんおかげです。

SON×B.LEAGUE モザイクアートのTシャツを頂きました

SONによる「B.LEAGUE FINAL 2020-21 モザイクアートキャンペーン」で制作した、モザイクアートが完成し、ファイナルの舞台でお披露目されました。(詳細は 7 月号を参照ください)

このモザイクアートがデザインされたTシャツに、今回チャンピオンシップに出場したシーホース三河の選手のサインを入れていただきました。「スポーツでつながり、みんなで未来へ進んでいこう」というメッセージが込められています。

B.LEAGUE を応援していきましょう!

Tシャツは事務局にて展示しています。見に来てね!



SON・愛知 運営委員会便り (議事録抜粋) <7月14日(水)18:00~堀田事務所から web 会議>

- 1. ボランティア委員会(八塚委員長) (1)各スポーツプログラムボランティアについて (2)システム化について
- 2. 広報委員会(窪田委員長) (1) N L 原稿 8 月号 (7 月発行) ①自宅でできるエクササイズの紹介 (2回目) ②支援自販機 設置の紹介③SOからのお知らせくメディカルフォームの変更・・・新書式はHPに掲載済>④SO説明会の開催⑤メルマ ガの登録依頼 (2) N L 原稿 9 月号 (8 月発行) ①愛知学泉短期大学との取り組み 7/15 研修会について②アスリートの活動紹介③SON・愛知支援先の紹介④メルマガの登録依頼 (3) 今後のN L 発行スケジュール (4) 情報発信とデータ 管理について (5) P & Mの活動報告 (6) メルマガの内容について (7/11 第 7 号配信)
- 3. 財務委員会(事務局代行) (1)支援自販機の入金状況:7月110,538円 1月からの累計532,296円は前年比113.9% (2) 寄付金6/17 掛水信行様 (3)6/30 株式会社服部精機様本社にて31台目の自販機設置と感謝状の贈呈。(酒井俊皓理事長、鈴木美好専務理事、秋重泉財務委員会副委員長立会い)2011年4月7日に第1号機が設置されてから10年となり昨年までの支援金額累計は680万円を超えた (4)7/13日本福祉大学で自販機設置について打ち合わせ。32台目となる支援自販機設置が決定 (5)友輪会チャリティゴルフを9/18(土)に開催
- 4 .SP 委員会(松田委員長) (1) スポーツプログラムの再開について (2) 「2021 年スペシャルオリンピックス日本・広島 大会 柔道」ついて (3) 新競技プログラムについて・・フロアーボール、競技チア
- 5.ファミリー委員会(松本委員長) (1) "堀田まつり" は今年も HP の更新がなく情報がない。引き続き様子を見ていく
- 6.事務局(鈴木事務局長) (1)6月度収支決算状況報告 (2)システム化費用の件 (3)SONの会員管理システムの件。 10年経過し更新しないことに決定 (4)SON・愛知のWebサイトのRSS対応の件 (5)株式会社買取王国様からの申し出の件は契約書を検討中 (6)SONよりBリーグシーホース三河様よりの協力申し出の件 (7)ジョギングフェスティバル開催の有無についてはこの後開催のジョギング委員会に決定する (8)次回運営委員会8月4日(水)18:00~Web会議

以上

※このニュースレターの印刷は、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 愛知支社様にご協力 いただいております。



できる人が、 できる時に、 できることを 寛富する 富士ゼロックス愛知株式会社は2021年4月1日に富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社へ社名変更しました。

これからも事業活動を通じて社会課題の解決に継続して貢献していきます。

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 愛知支社 https://www.fujifilm.com/fb/company/fbj

